

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会  
第2回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成27年7月31日14:00～15:45

2. 場所：札幌第1合同庁舎10F共用第4会議室

3. 出席者 22名

北海道開発局（2名）、北海道、札幌市（2名）、日本測量協会北海道支部、建設コンサルタンツ協会北海道支部、北海道GIS・GPS研究会（2名）、北海道GIS技術研究会、日本写真測量学会北海道支部、北海道測量設計業協会、NPO法人Digital北海道研究会（3名）、NPO法人ゆうらん、道南いさりび鉄道(株)、北海道大学、酪農学園大学、国土地理院北海道地方測量部（3名）

4. 議事

(1) 農業・観光関連の地理空間情報に関する取組のご報告

- ・マルチコプター型 UAV の近年の動向と農業環境分野での利活用について  
酪農学園大学 小川氏
- ・札幌市公共交通路線図「なまら便利なバスマップ」について  
NPO法人ゆうらん 松本氏
- ・準天頂衛星・IMES を活用した観光・防災分野へのG空間活用について  
道南いさりび鉄道 敷村氏

(2) 話題提供

- ・GISDAY in 北海道について（酪農学園大学）
- ・MMS の公開について（国土地理院北海道地方測量部）
- ・G空間 EXPO2015 について（国土地理院北海道地方測量部）

(3) その他

- ・次回の開催予定について

5. 配付資料

(1) 事務局

- ・議事次第・出席者名簿
- ・第1回情報共有会合 議事概要
- ・GIS DAY in 北海道 2015 開催のご案内
- ・移動計測車両（MMS）の公開について
- ・G空間 EXPO2015 ちらし

(2) 取組報告資料

- ・マルチコプター型 UAV の近年の動向と農業環境分野での利活用について
- ・札幌市公共交通路線図「なまら便利なバスマップ」について
- ・準天頂衛星・IMES を活用した観光・防災分野への G 空間活用について

## 6. 議事概要

第2回の会合は、農業・観光関連の地理空間情報に関する取組について、次の3課題の発表を行った。

- (1) 酪農学園大学小川氏より、酪農学園大学が使用する UAV の諸元、計測した画像の処理、研究成果の実利用に向けた取組等をご報告いただいた。今後に向けて注目している UAV について質問があり、レーザースキャナを積めて、もっとよい精度で樹木の観測などができ、扱いが簡単な機体を使いたいとの回答があった。
- (2) NPO 法人ゆうらん松本氏より、なまら便利なバスマップの発行経緯、特徴、配付場所、配付の効果等についてご報告いただいた。スマートフォンの地図アプリ等への展開予定、今後の需要について質問があり、なまら便利なバスマップは印刷物の配布用に考えていること、web での検索ツールとしては札幌には「さっぽろえきバスナビ」があること、今回は2万部印刷できたのでまだ余裕があるとの回答があった。また、配布場所としてドラッグストアも考えられるとの意見も出された。
- (3) 道南いさりび鉄道の敷村氏より、準天頂衛星と IMES の説明、鉄道博物館における IMES の実証実験、防災分野への利用等に関するご報告をいただいた。鉄道に乗りながら使うアプリを考えているか、IMES とアイビーコンのメリット・デメリットはなにかという質問があり、乗車中は車窓の風景を見てほしいが、何か途中下車のきっかけとなるようなものがあればよい、IMES とアイビーコンの設置費用、位置情報の信頼性の得やすさ、使いやすさ等から場所による使い分けについて回答があった。

## 7. 話題提供

酪農学園大学より、GIS DAY in 北海道 2015 の開催について、事務局より移動計測車両 (MMS) の公開について、及び G 空間 EXPO2015 についての案内があった。

## 8. その他

- ・次回の会合は9月末頃を予定。テーマの案は、「防災・災害関連の地理空間情報に関する取組」を予定。